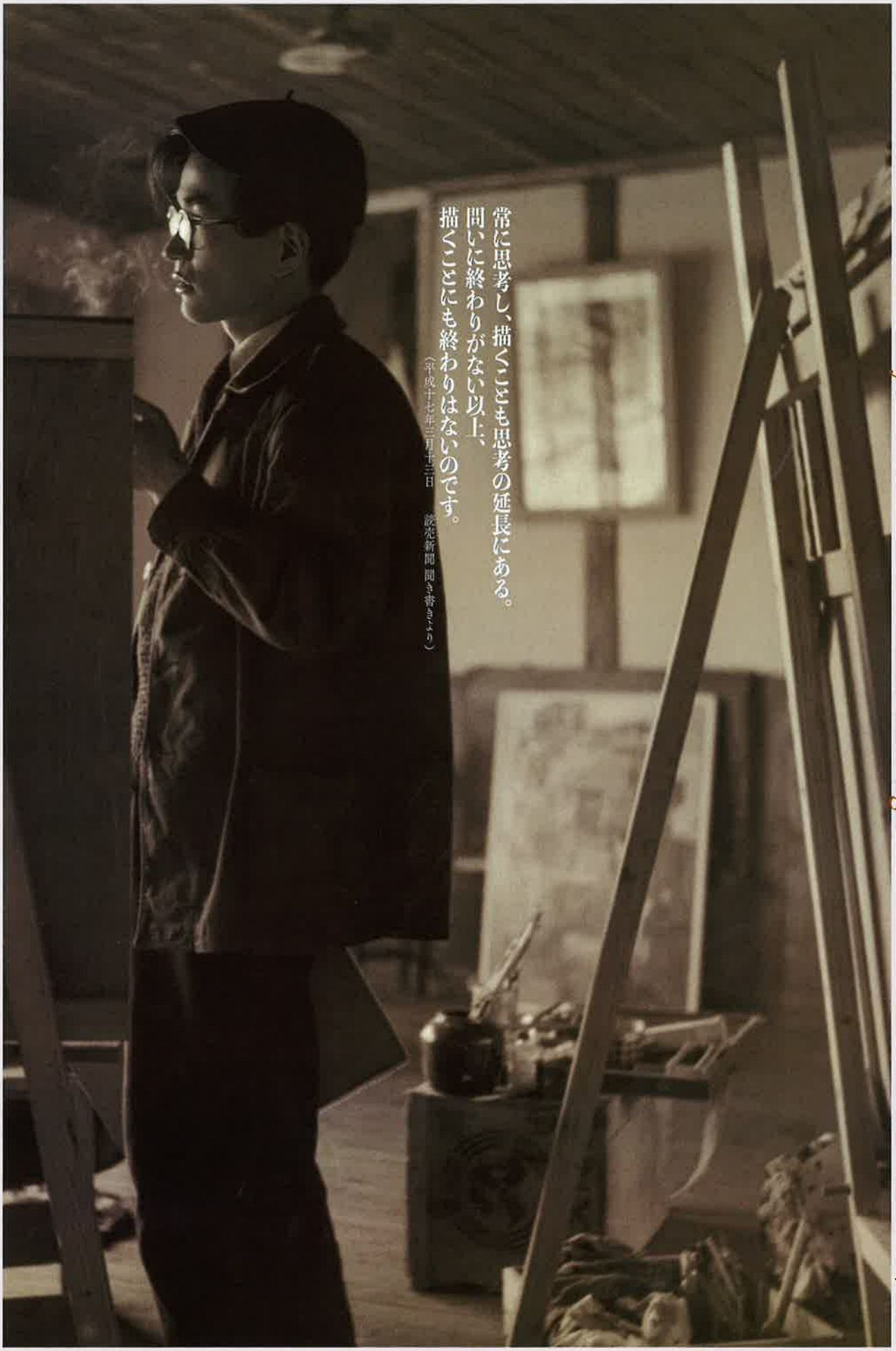


生誕100年 尾花成春展

The 100th anniversary of the birth of Obana Shigeharu

主催＝八女市、八女市教育委員会
協力＝Gallery 光画堂、久留米市美術館
後援＝うきは市、うきは市教育委員会

写真提供：Gallery 光画堂

アトリエの独り言（ひとり）

2026.11.3（火）～12.13（日）

八女市田崎廣助美術館
福岡県八女市立花町原島108-1
TEL…0943-24-8304

休館日＝月曜（祝日の場合は翌日）
開館時間＝9：00－17：00
（入館は16：30まで）
入館料＝無料

生誕100年

尾花成春展

アトリエの独り言

このたび八女市田崎廣助美術館にて、生誕100年を迎える福岡県うきは市（旧吉井町）出身の画家・尾花成春（1926－2016）の歩みをたどる展覧会を開催します。

ほぼ独学で絵を学び、福岡県展や自由美術展で入選を重ねた尾花は、福岡の画壇で頭角を現します。1957年、前衛美術集団・九州派に参加し、アスファルトや廃材を画材に用いた表現や立体作品などを経て、1972年からは枯れた草むらを描いた「筑後川シリーズ」を開始します。その後は、四国高松や国東半島、平戸などを取材した「海シリーズ」を展開。晩年には大分県前津江で拾った埋もれ木を描く「渓谷にて想うこと」や、自邸の庭に咲くカラーの花を描いた「花に語る」へと、生涯にわたり作風を変化させながら、独自の世界を切り拓いていきました。

本展では、初期から晩年までの作品とともに、制作の合間に記された日記やメモをパネルで紹介します。尾花成春の『独り言』に耳を澄ませ、その内なる原点に触れるひとときをお過ごしください。



1

The 100th anniversary of the birth of Obana Shigeharu

空気が響き 黒が動く。



2



3



4



5



6



7

1.《海（平戸）》2001年
2.《初めての油絵》1941年
3.《黄色い風景》1959年
4.《風景 筑後川より 菜の花の頃》1988年
5.《作品―平戸より》1997年
6.《花がある》2003年
7.《森の中で》2006年　※全てGallery 光画堂蔵

関連イベント

尾花成春の魅力とその画業について

11月28日［土］ 13：30～15：00
会場＝立花公民館イベントホール（八女市田崎廣助美術館横）
定員＝30名（先着順）
聴講無料
講師＝森智志氏（久留米市美術館学芸員）

＊本展覧会に関する情報に変更がありました場合は、当館ホームページによりお知らせいたします。
＊本展は企画展のため、田崎廣助の作品展示はございません。あらかじめご了承ください。

交通案内

※堀川バス・辺春線は平日のみ運行
※おおよその時間で記しています。

○車でお越しの場合
九州自動車道　八女IC～《約15分》、広川IC～《約20分》
駐車場無料（八女市役所 立花支所の駐車場をご利用ください）

○電車・バスでお越しの場合
・西鉄天神大牟田線　西鉄福岡（天神）駅～西鉄久留米駅
↓乗換　西鉄バス・八女方面「福島」《約35分》
↓乗換　堀川バス・辺春線「丸野」《約10分》
・鹿児島本線　JR博多駅～JR羽犬塚駅
↓乗換　堀川バス・八女方面「福島」《約35分》
↓乗換　堀川バス・辺春線「丸野」《約10分》



八女市田崎廣助美術館
福岡県八女市立花町原島108-1
TEL…0943-24-8304
https://www.city.yame.fukuoka.jp/art_museum/

［ 次回展 ］
五木寛之（クロニクル）年代記60's　2027年1月23日（土）～3月28日（日）

D.design kanabo ／高山朱美 AkemiTakayama